

第46回

和の情

WA no COCORO

勉強会

歴史、神話、宗教、哲学、文学、科学等から
日本人の原点なる「こころ」を読み解き
誇り、能力、価値観、感性を取り戻すため
何でもありの半分ふざけた学びの会

セミナー形式で考えを深めたり
気づきのシェアをしながら意見交換したり
ワークショップ形式で実践したり
形は様々で毎回テーマを絞って学びます

9月のテーマ「天」



これまでのテーマ

料^九嘗^九忽^九无^九鼠^九成^九律^九
相^九經^九字^九季^九遊^九子^九
豳^九罔^九吹^九表^九圓^九豳^九
辨^九知^九雅^九本^九不^九即^九
樂^九節^九籥^九克^九瓶^九不^九岑^九
念^九月^九捨^九如^九胡^九志^九
誇^九道^九味^九鑄^九天^九

本日の予定

一 天とは？

二 天と地のはじまり

三 天地人

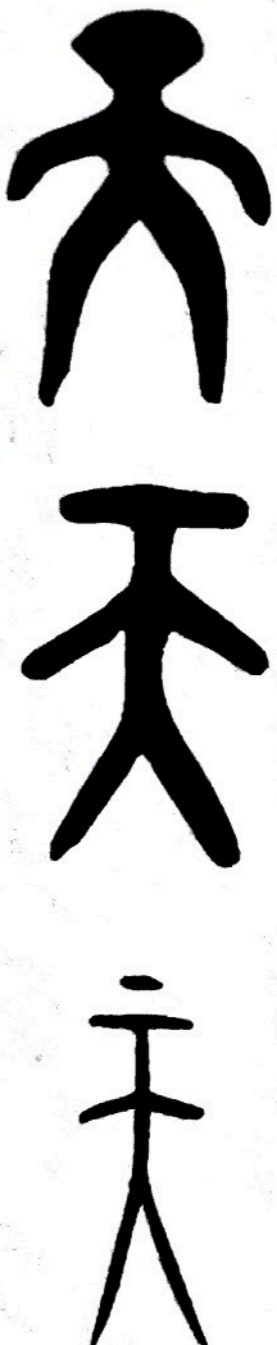
四 天の才

五 人間社会と美意識

六 人為と自然の境界

七 華嚴の世界

天とは？



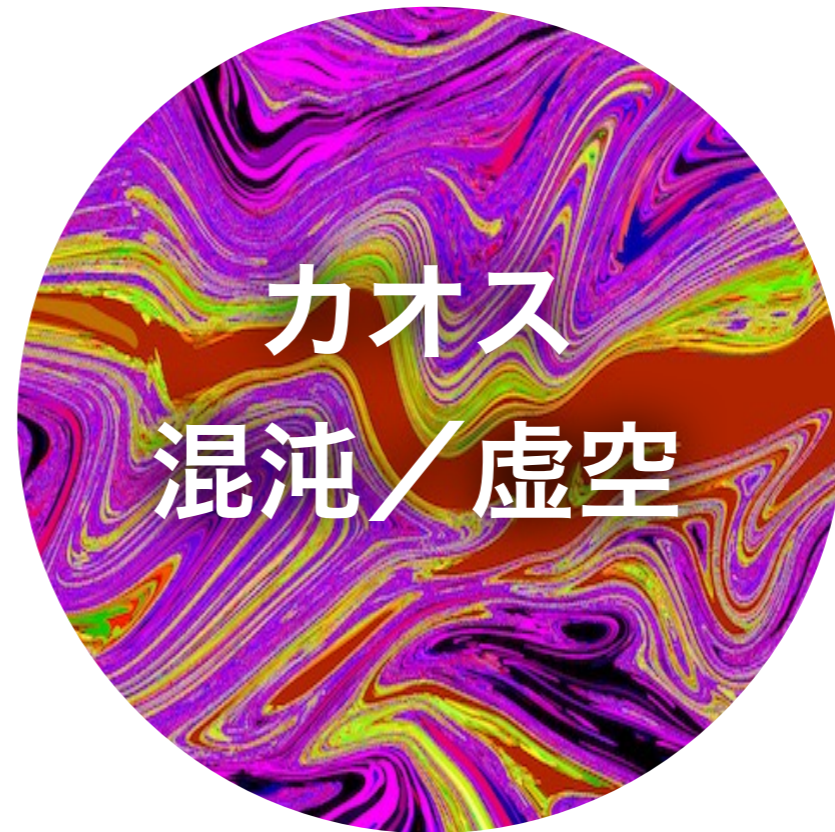
人の頭の形。大は人の正面形。
その上に大きな頭を加えた形で
人の一番高いところ。

・上のこと

・形而上学的な意味

・万物の神

次第に解釈が拡大



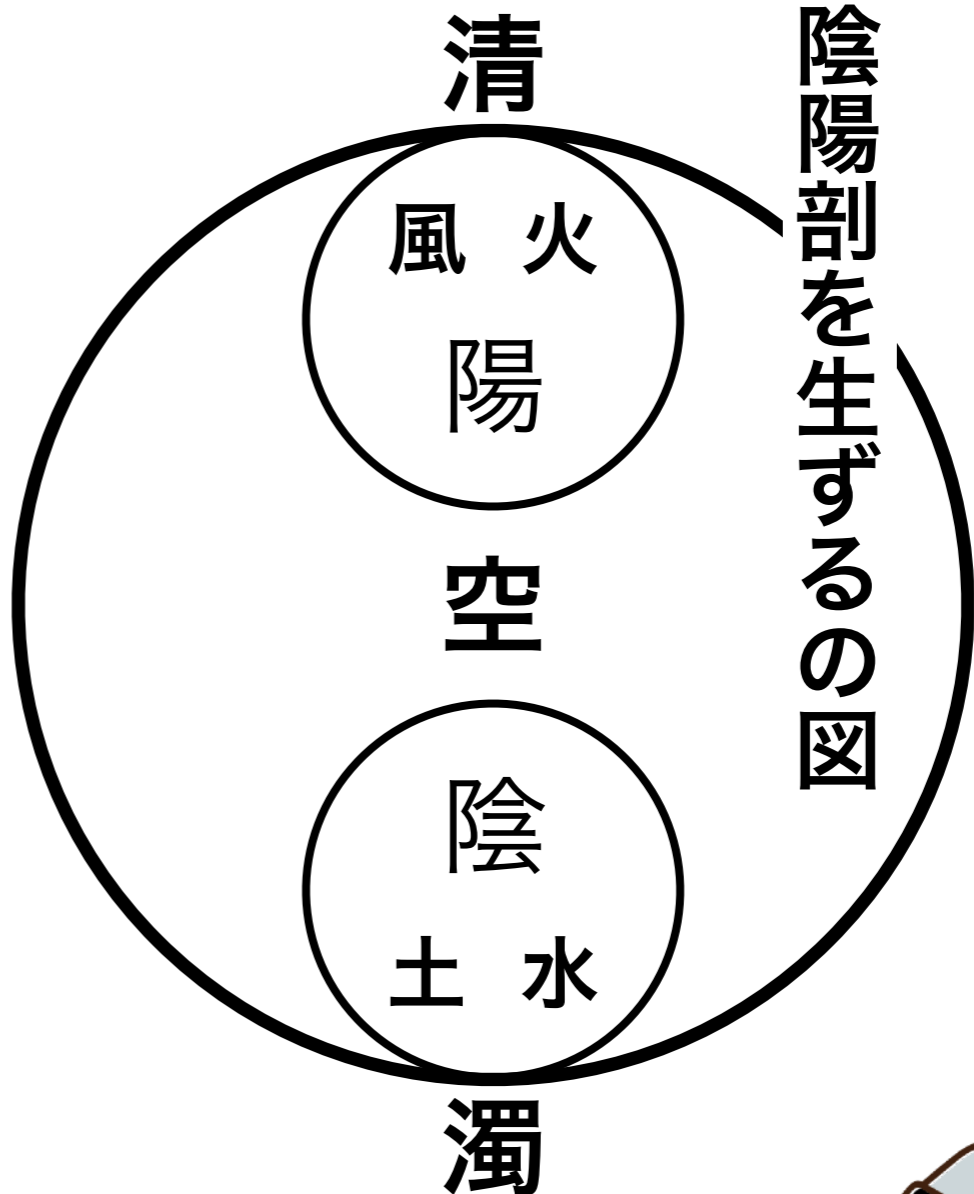
0から1は生まれるか？

天と地のはじまり

天空の神ウラノス＋大地の女神ガイア	カオス (虚空)	ギリシャ神話
天＋地	神	旧約聖書
太陽＋大地	海	エジプト神話
天の神アン＋地の神キ	海	シュメール神話
陽清の天＋陰濁の地	混沌 (鶏卵)	中国神話
澄んだ気 of 天＋濁った気 of 地	混沌 (鶏卵)	日本神話

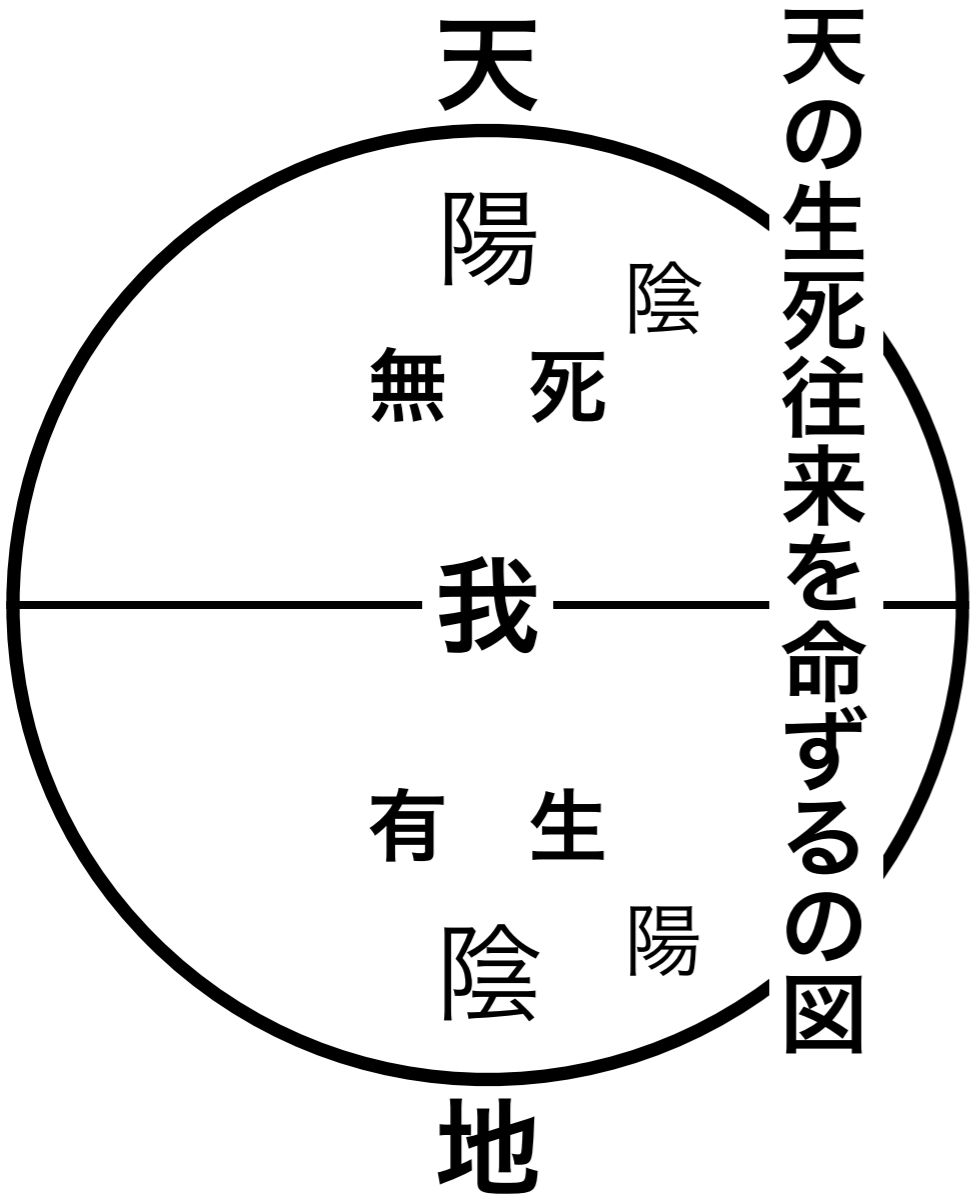
天地人ニ三才

陰陽剖を生ずるの図



『三才報徳金毛録』

天の生死往來を命ずるの図



二宮尊徳

1787.9.4-1856.11.17

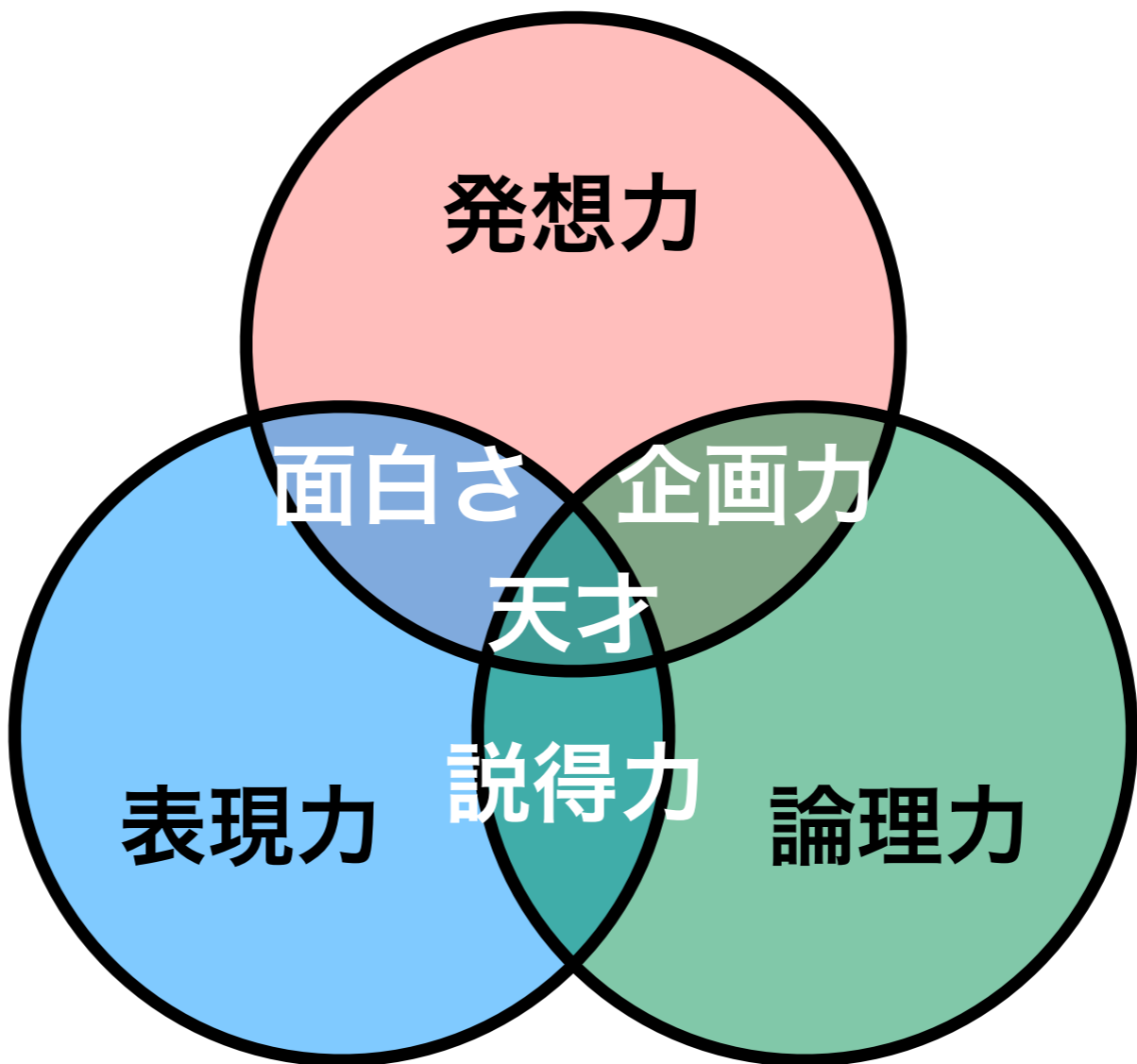
「報徳思想」

農政家、思想家

生者生くるにあらず
死者死ぬるにあらず。
陰陽の往來すること
止まざればなり。
仏はこれを
有無といえり。

天から与えられた天才

天才の定義



by岡田斗司夫氏

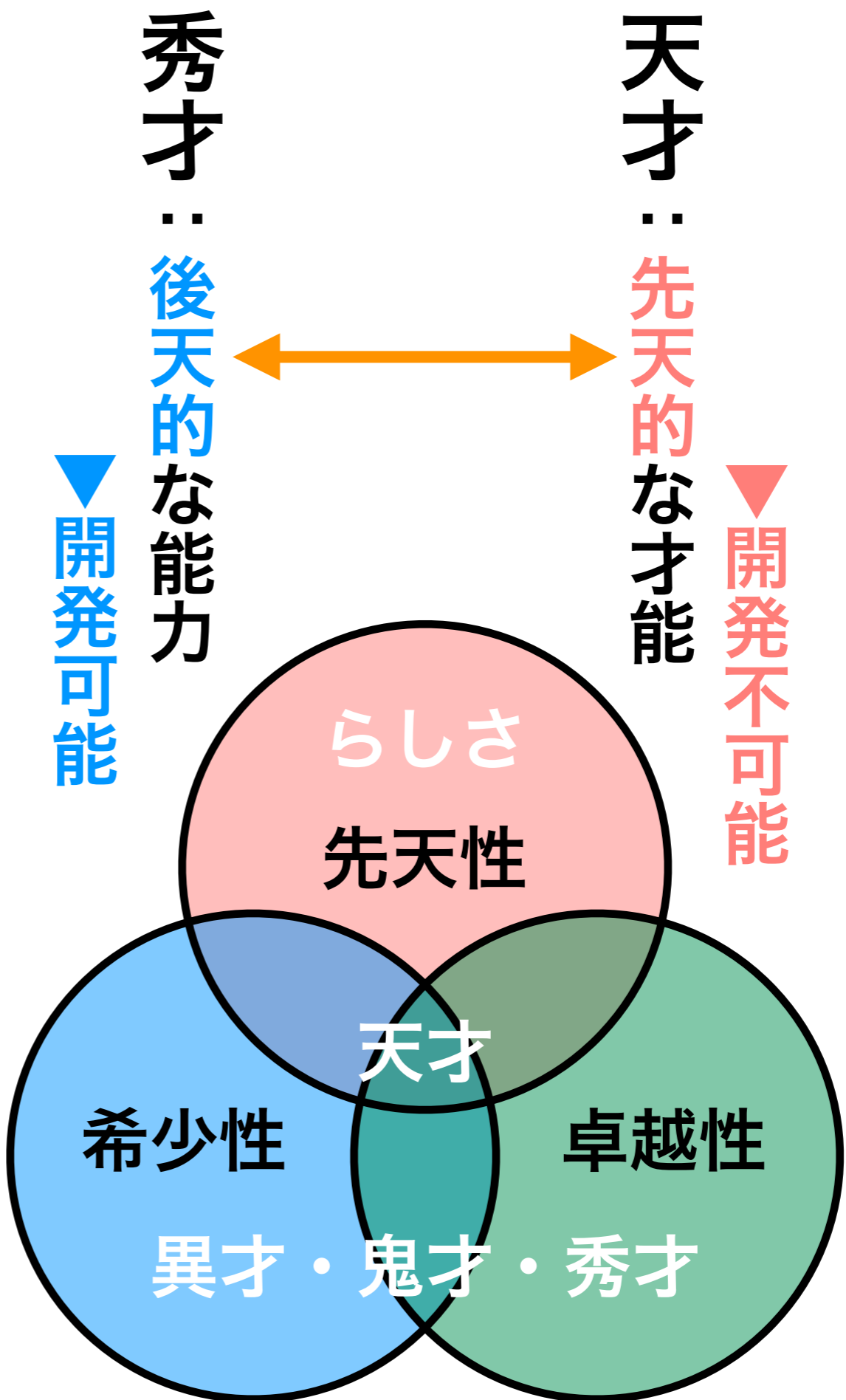
?

天才..生まれつきそなわっている、

並外れてすぐれた才能。

特別に優れた才能を持つ人。

天才の再定義



天才..**先天的な才能**

▼**開発不可能**

秀才..**後天的な能力**

▼**開発可能**

秀才 (英才・俊才) ..優れた才能**・優等生**

異才 (偉才) ..普通とは違う**・**並外れた才能

鬼才 ..人間**離れ**した才能

凡人 ..突出した才能のない

ありふれた**平均的な人**

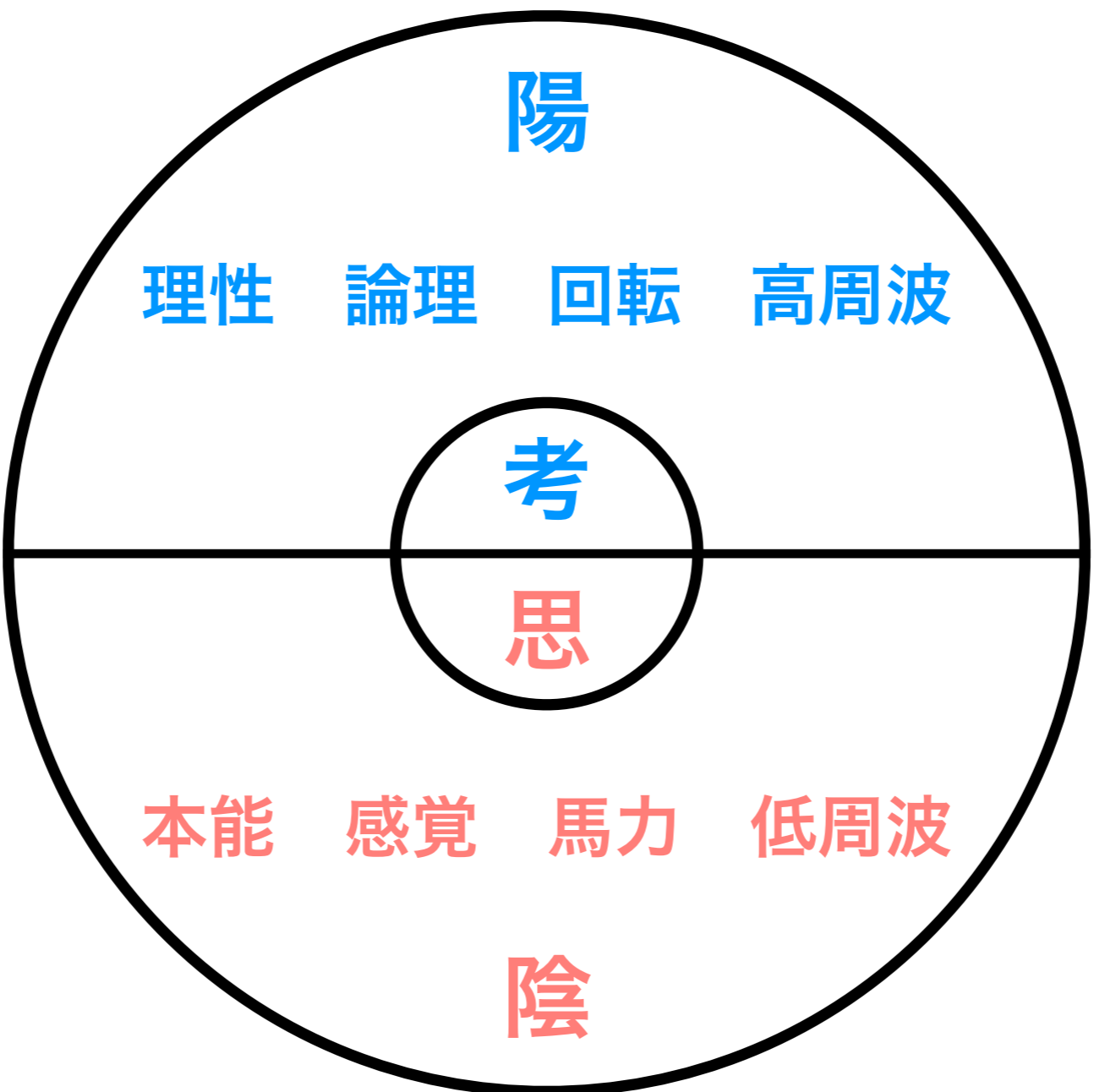
-参考-

人間に与えられた才

思考する力

＝人間らしさ

現代はこちらに偏りがち



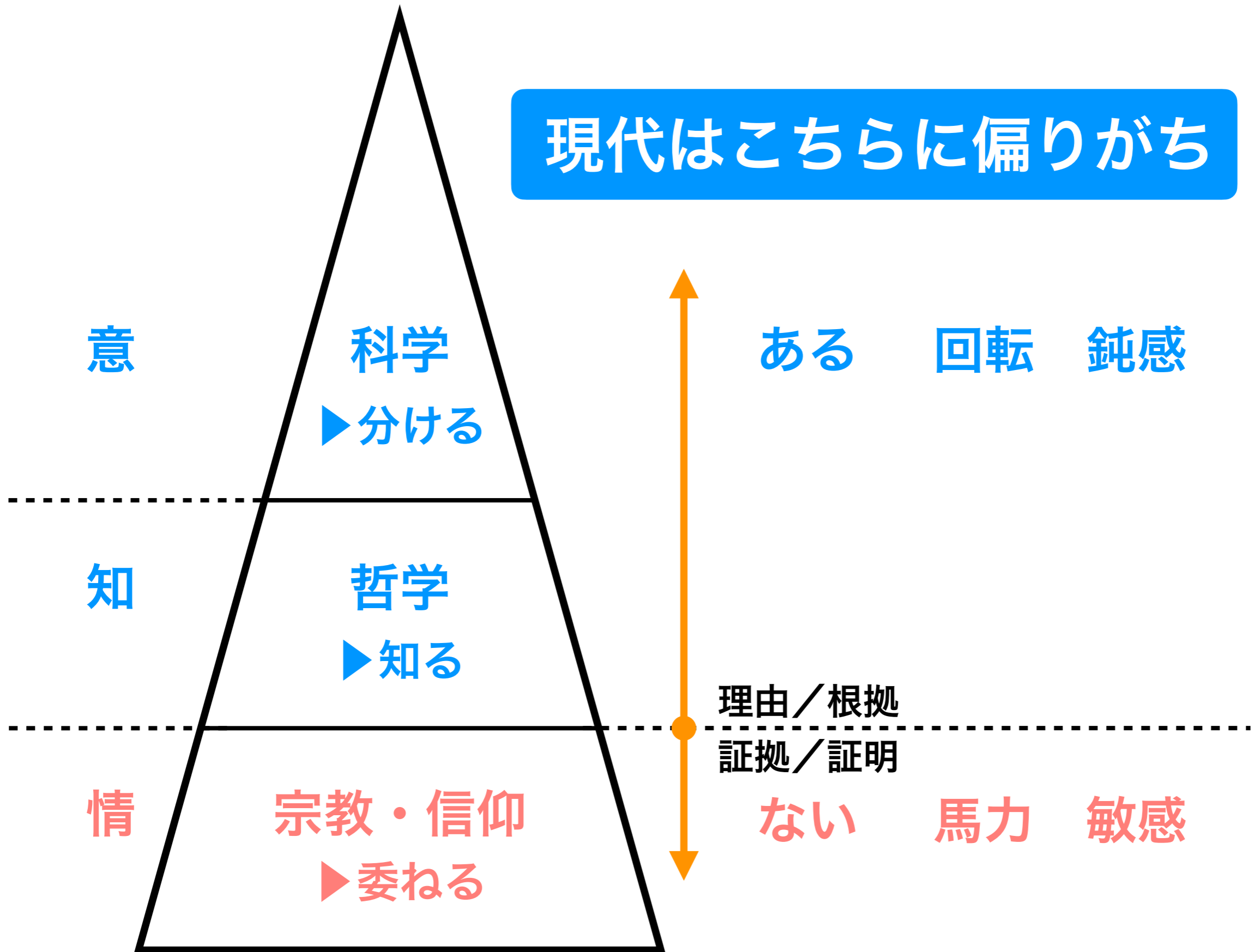
知る

＝認識、気づき、理解、記憶

ほとんどは対象とそれ以外を分けたに過ぎない

宗教と哲学と科学の違い

現代はこちらに偏りがち



人はどこへ向かうのか

人間社会の未来

狩猟社会 (Society 1.0)

農耕社会 (Society 2.0)

工業社会 (Society 3.0)

情報社会 (Society 4.0)

〇〇社会 (Society 5.0)

メタバース 仮想社会？

人間の視野の解像度 (画素数)

.. 5億7600万画素

人間の視野角

.. 水平200度、上下125度

150インチモニターぐらい？

リアルほどリアルな仮想現実はない

仮想現実への現実逃避

痛み・不快を感じたくない
苦しみから逃れたい
悩みから解放されたい

健康 (Health)

死ぬ事以外はかすり傷 (死んでも打撲程度)。

キャリア、将来、夢 (Ambition)

仕事は目の前のことを精一杯やれば良い。
将来の不安は「今」にない。夢は寝て見る。

人間関係 (Relationship)

150歳以下は全員生まれただて。

お金 (Money)

他の3つをこなしてたら必要分は入る。

HARMの法則 (4種の悩み)

不自然な美の追求

人間の視覚の画素数を超えた

画質の研究：

キレイを求め過ぎて不自然に…

本当の自然は

ジブリみたいにキレイじゃない…

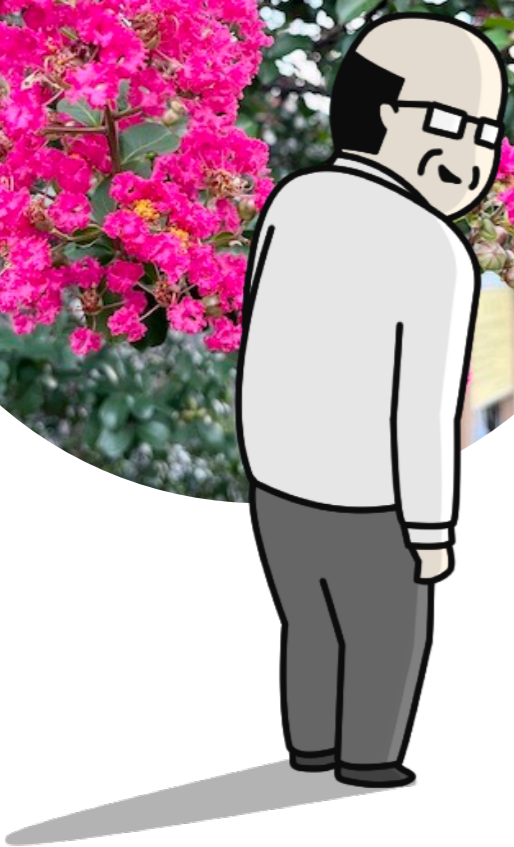
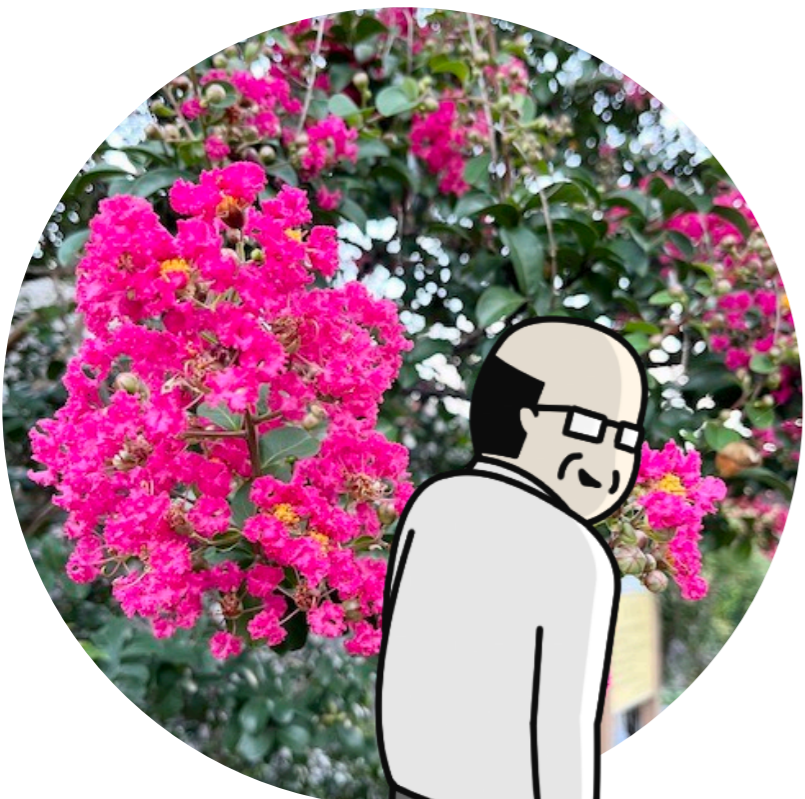
情でつかむ「美」意識が必要

情による「美」意識

シチヘンゲを摘むおばちゃん



サルスベリを筆るおじくん



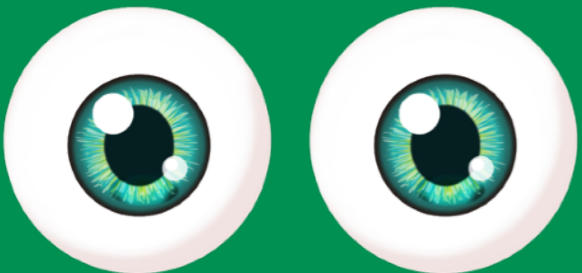
意



知



情



分別をつける

対象とそれ以外を分ける

① 本質 ↔ 現象

② 自力 ↔ 他力

③ 自然 ↔ 人為

まとまると
別れたくなり
別れると
まとまりなくなる

世界は絶対矛盾的自己同一



西田幾多郎

1870.5.19

-1945.6.7

① 色即是空空即是色

② 自力or他力でなく

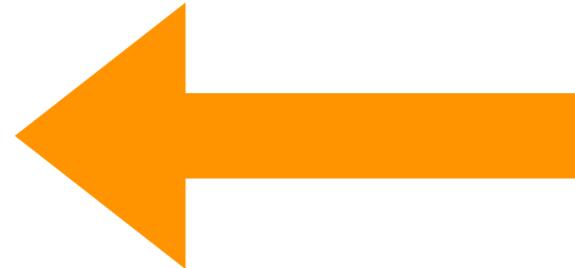
一駅ぐらい自力で歩いて

あとは特急乗車

生きるために
手を加える必要

自然

人為



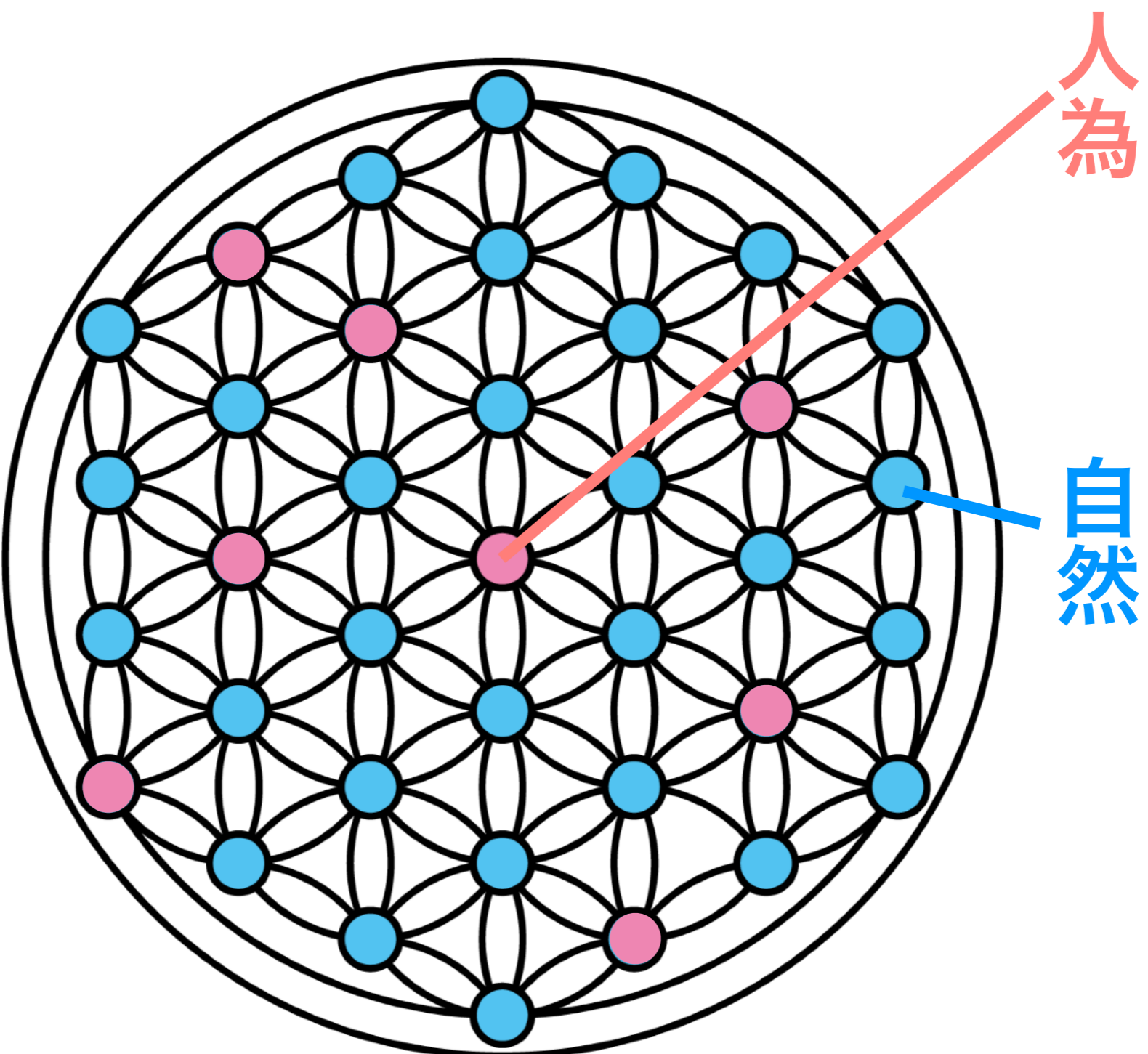
どこまでが自然破壊？

自然を守るとはということなのか？

..
理

..
事

① 事法界



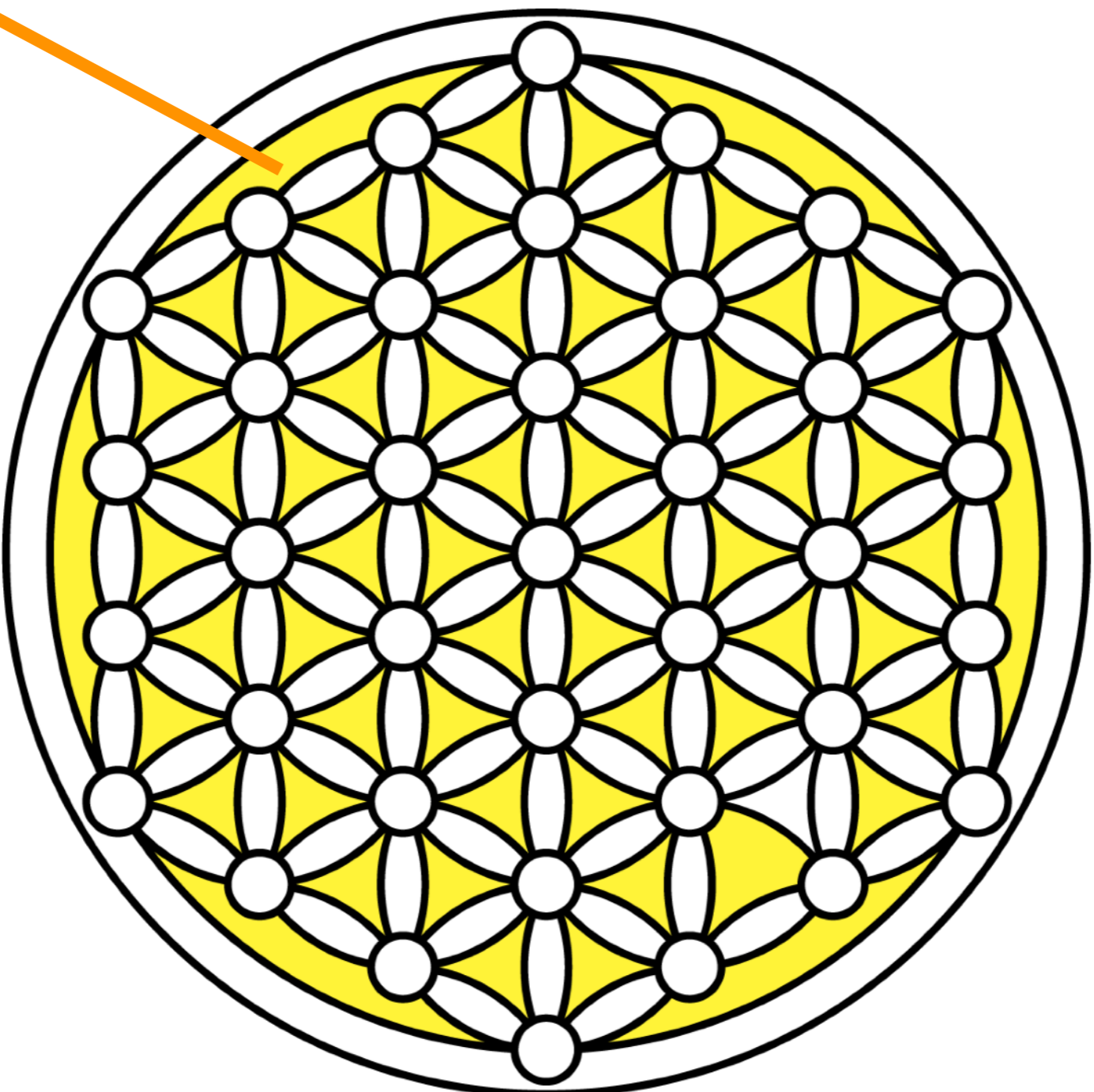
個物と個物が

ただ共存共生している世界

自然と人為が対立的に存在している

② 理法界（中觀・二論）

「空相…不生不滅不垢不淨不增不減」

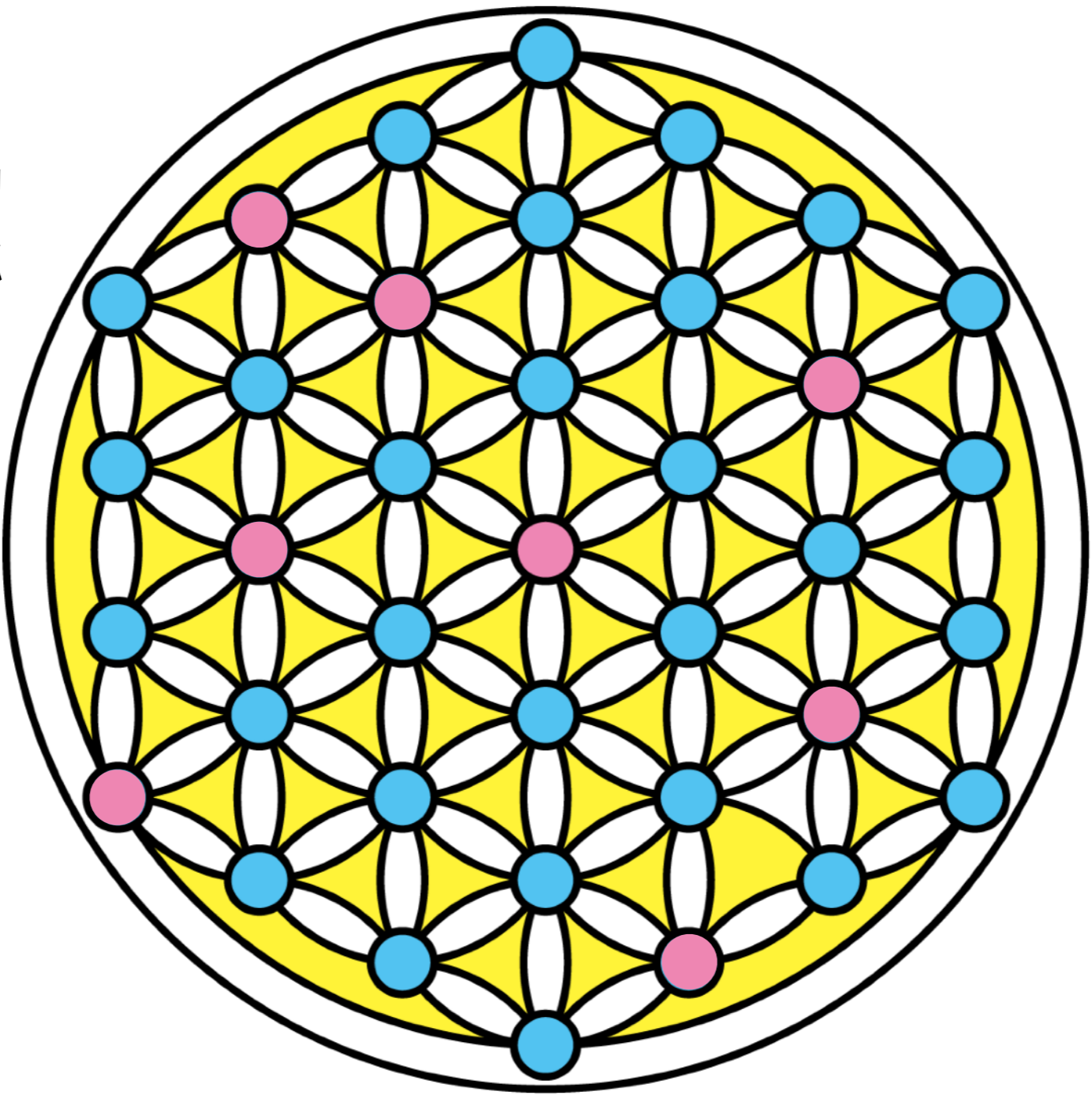


真理（空） 二道、天、神仏の世界

二元対立的な発想はない

③ 理事無礙法界（天台）

「無智亦無得以無所得故」 般若波羅蜜多



特定の個物が

真理と相通じている（目醒めた）世界

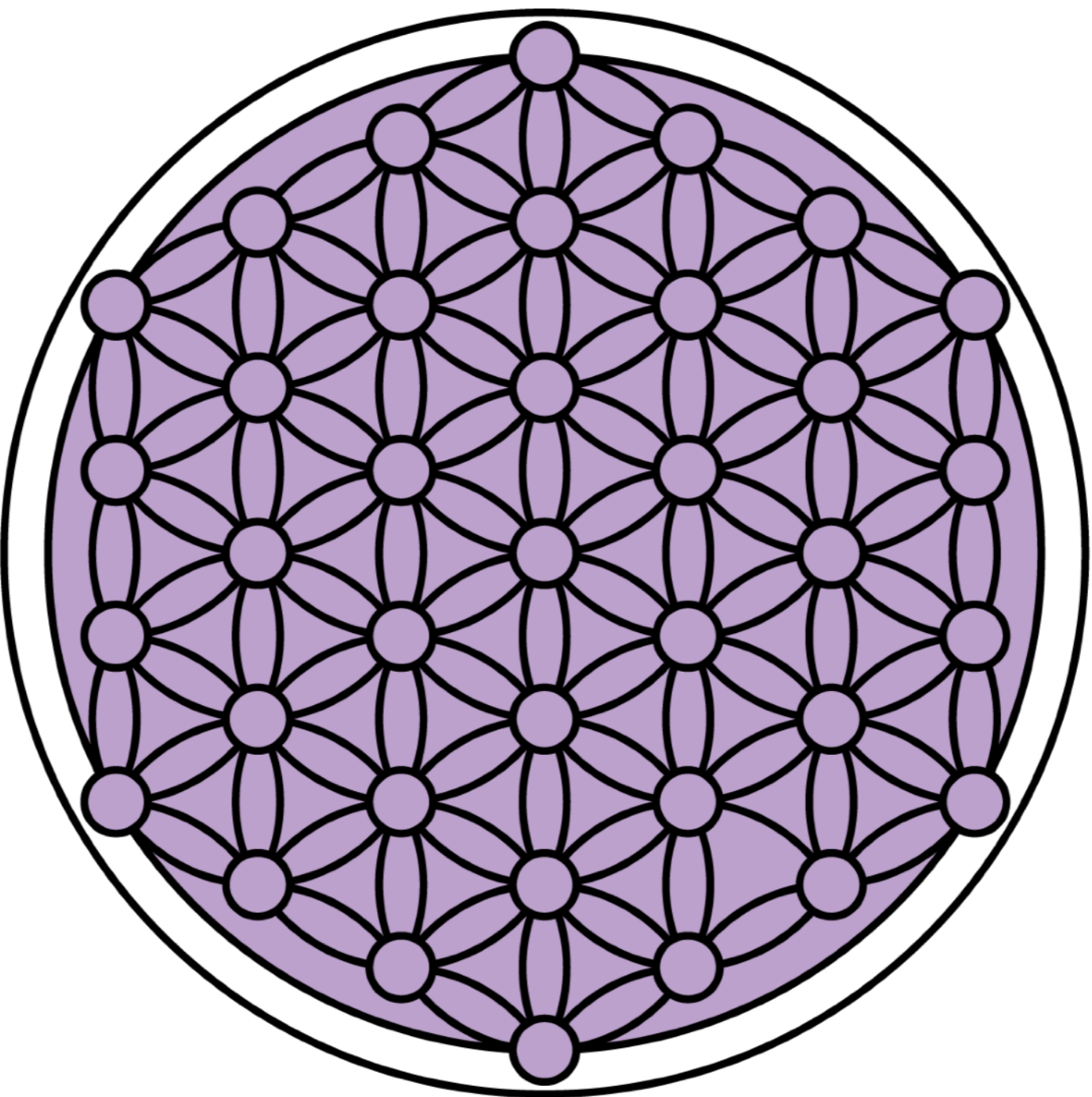
現象と真理の区別はある

自然と人為の心が繋がっている

④ 事事無礙法界（華嚴）

「色即是空空即是色」

人為 = 自然



エントロピー最大の熱的死

個物と個物が融け合い

個物の甲は甲であり、甲は乙であり

個物の乙は乙であり、乙は甲である世界

自然と人為が完全調和している

事事無礙の体現

「吾が心即ち天」

心の官は則ち思うなり。

思うの字はただ是れ工夫の字のみ。

思えば則ちいよいよ清明に、

いよいよ篤実なり。

其の篤実なるよりして之を行と謂い、

其の清明なるよりして之を知と謂う。

知行は一の思うの字に歸す。

事物心一切至極のところ

を見んには、

その至極のところへ

直入するの外なし。



南方熊楠

1867.5.18
-1941.12.29



佐藤一斎

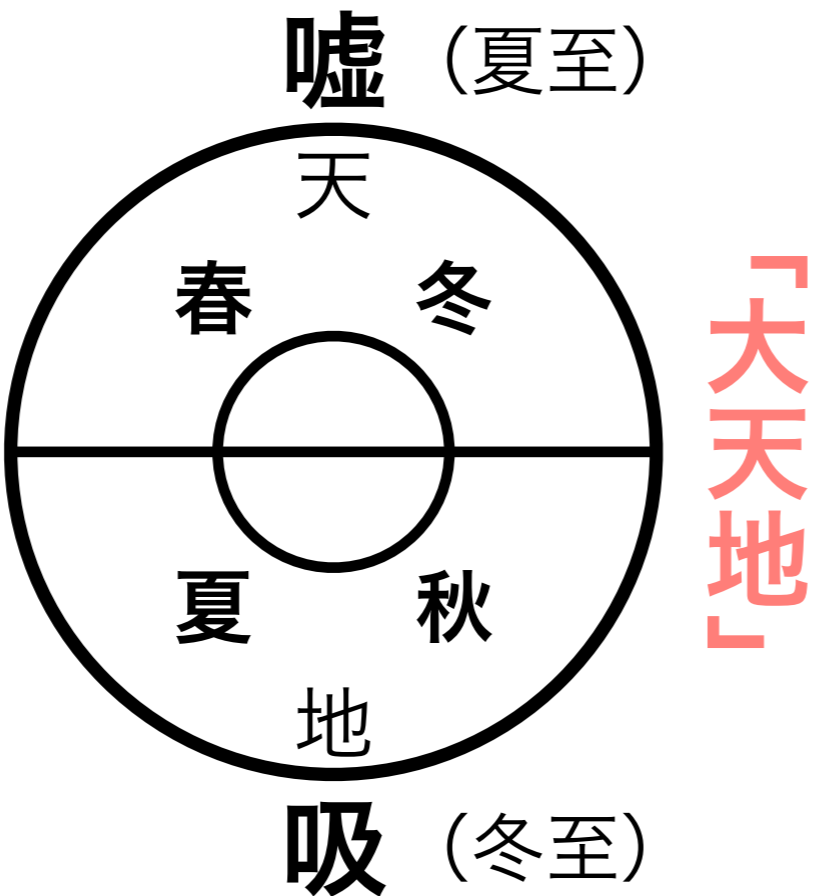
1772.11.14
-1859.10.19

事事無礙の体現（真言）

自然破壊：自然のペースを超えた搾取

天地自然に呼吸（ペース）を重ねる

天の四序変化を命ずるの図



「大天地」

「小天地」



天は一歳に嘘吸して
春夏育茂し、秋冬収穫す。
万物ここに養わる。
人は小天地にして、
一昼夜に三千六百呼吸をなす。
度を変ずれば疾病を生ず。
四序の不順、まさにこれをもつて察すべし。
人体一年の嘘吸を権れば、
百二十九万六千数におよぶ。
六十歳の度を量れば、
七千七百七十六万数なり。
曆軸は六十一歳にして元に還る。
人生もまたかくのごとし。
この大天地の嘘吸に配せば、
浮世はなお七千七百七十六万歳
にして本に還るがごとしと。

野菜は肥料なしで育つ

より大きく、より多く

収穫するために

肥料が必要になる

よりキレイに

実らせるために

農薬が必要になる

より均一化を図るために

化学肥料や交配種が

必要になる

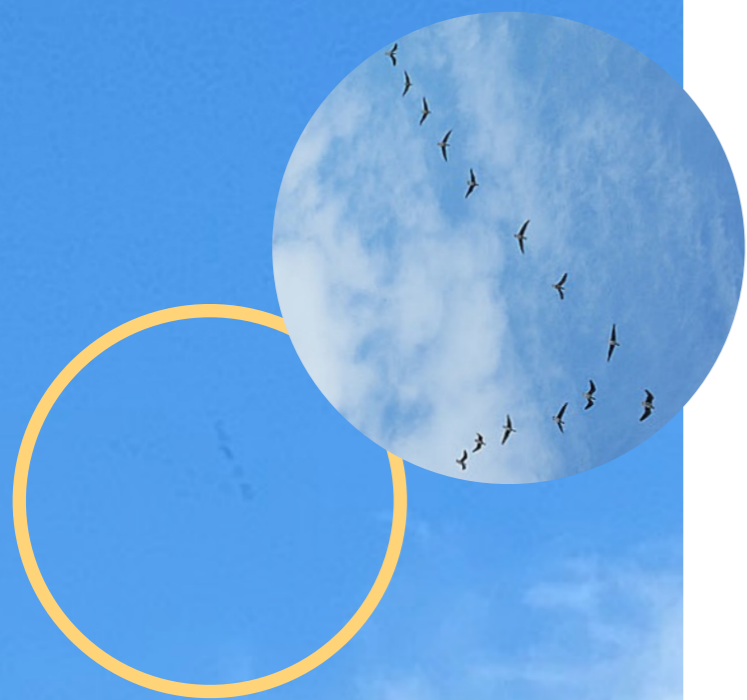
季節に関係なく食べられるために

温度管理した栽培が必要になる

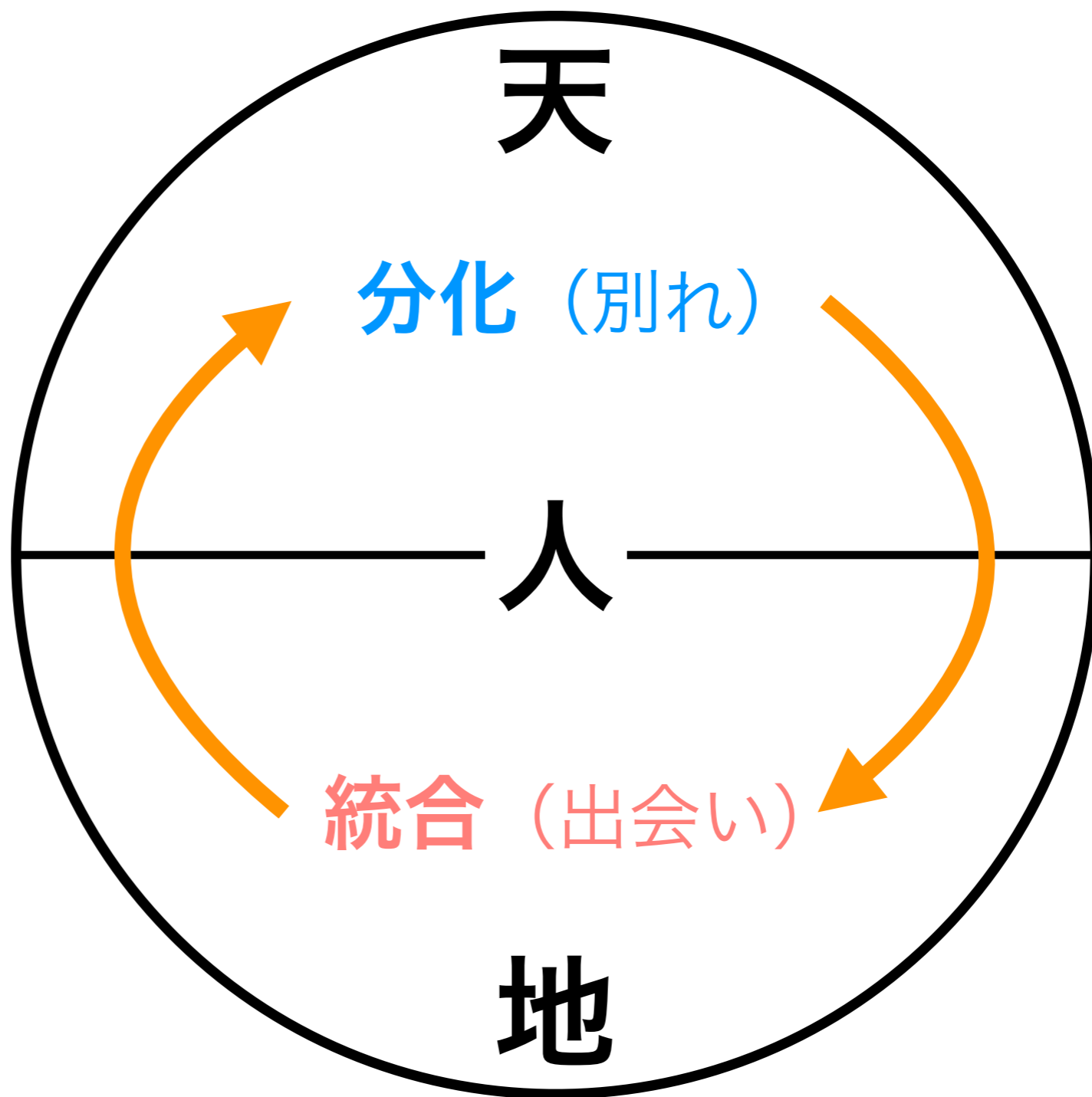


呼吸を重ね、情の美意識で一体化する

鴻雁北



鴻雁来

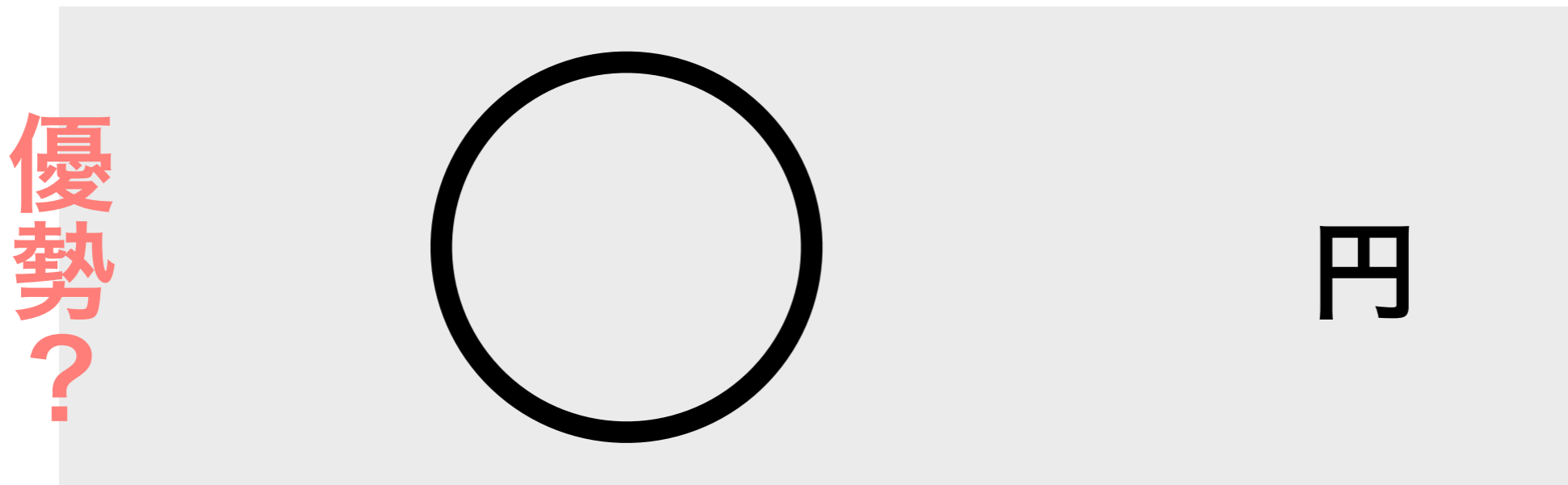


命の本質は出会いと別れ

宇宙の行き先



or



十牛圖と華嚴思想

事事無礙法界
=現象界の一体化

返本還源

入廩垂手

尋牛

事法界=人

見跡

見牛

人牛俱忘

忘牛存人

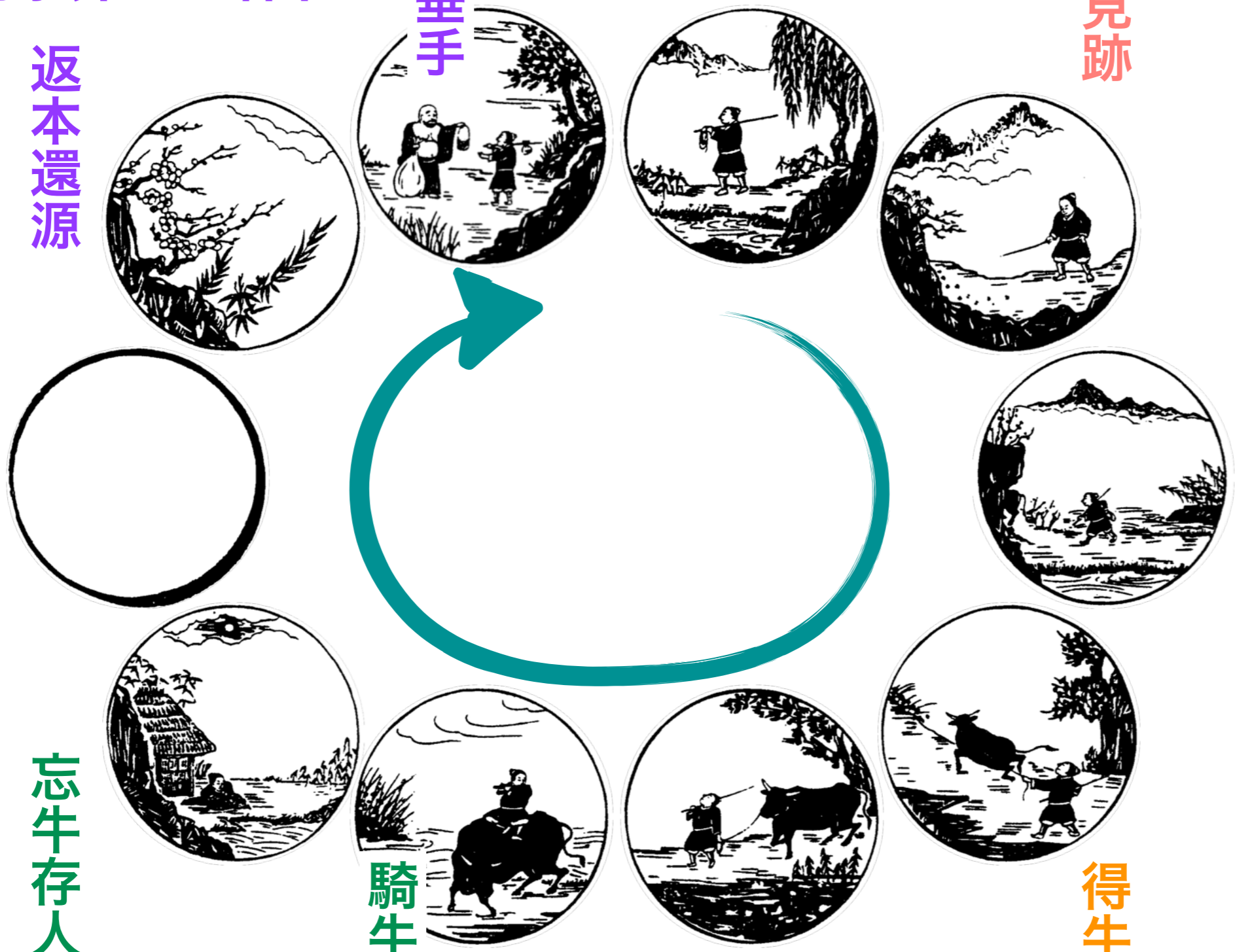
理事無礙法界
=牛と人の一体化

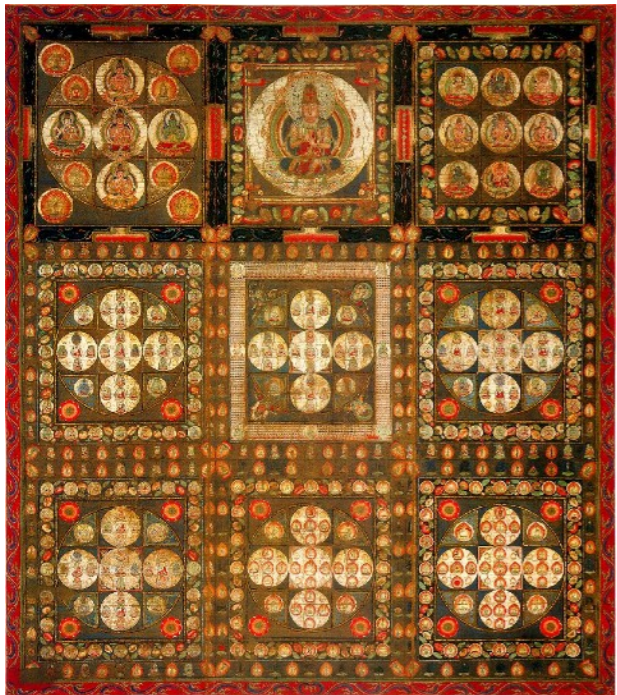
騎牛帰家

牧牛

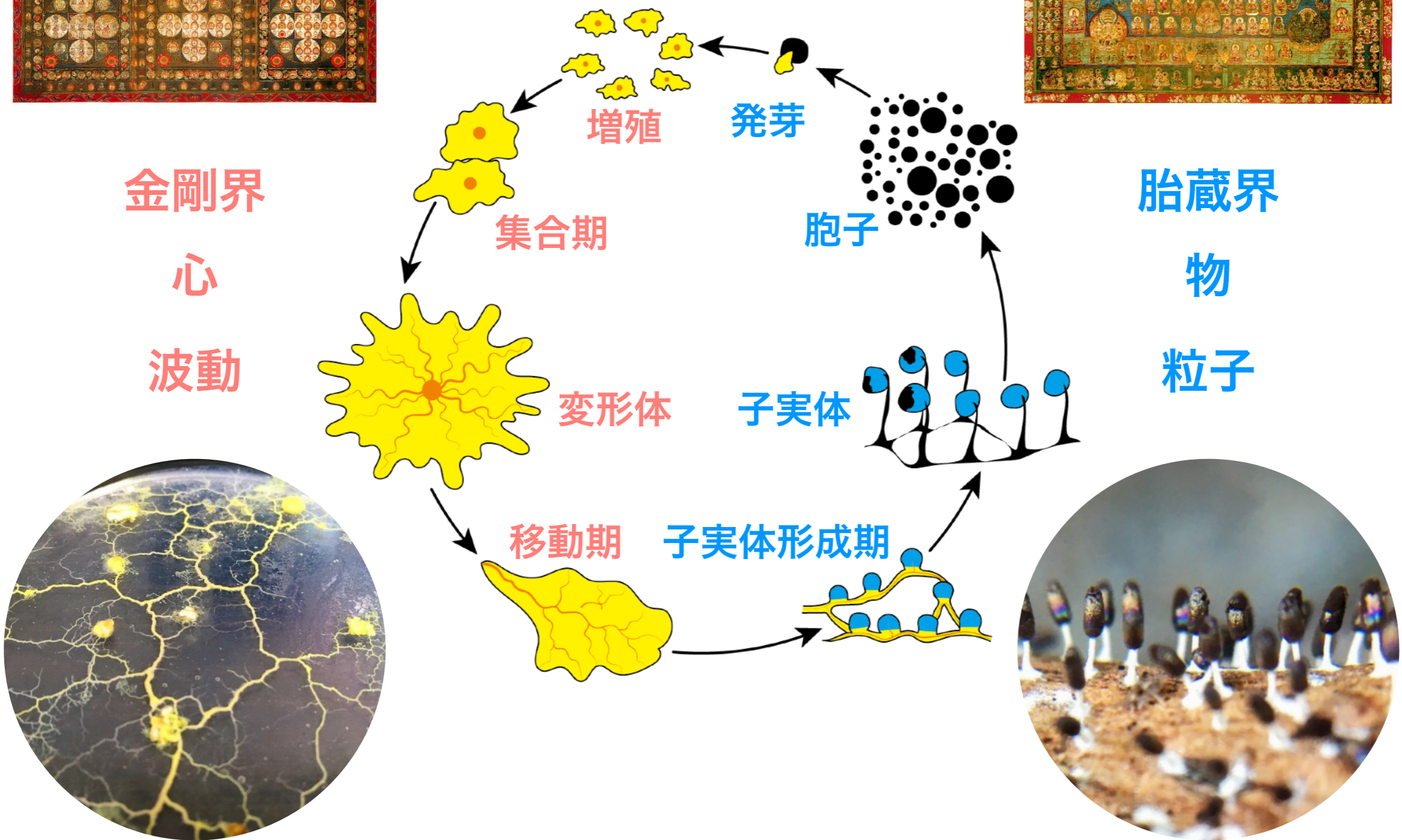
理法界=牛

得牛





粘菌と曼荼羅



にちにち お
日々居ると煩わし
わづら

居らぬは居らぬで煩わし

亭主か女房か知らんけど



和
の
情

WA no COCORO

